



なかよし広場だより

令和8年 9月号

9月の行事予定

※赤字は予約になります。

東員町子育て支援センター

(ふれあいセンター2階)

東員町山田2013番地

TEL: 0594-86-2876

FAX: 0594-76-1566

メール: nakayosi@town.toin.lg.jp

利用時間 午前 8:30~10:00/10:15~11:30
午後 13:00~14:30/14:45~16:00

1	火	朗読ひばりの会	16	水	育児相談
2	水		17	木	おしゃべりサロン(1,2歳児)
3	木		18	金	
4	金		19	土	お休み
5	土	親子ふれあい広場「ほめ方・しかり方」	20	日	お休み
6	日	お休み	21	月	お休み(敬老の日)
7	月	親子ミニサロン(保健師)	22	火	お休み(国民の休日)
8	火		23	水	お休み(秋分の日)
9	水	赤ちゃんサロン	24	木	臨時休所
10	木		25	金	臨時休所
11	金	はつねの会	26	土	お休み
12	土	お休み	27	日	お休み
13	日	お休み	28	月	
14	月		29	火	
15	火		30	水	ブックスタート



イベントのお知らせ



予約開始日は
8月7日(金)です。

「朗読ひばりの会」による読み聞かせ

日にち: 9月1日(火)

時間: 10:00~10:15

親子で楽しめる絵本や紙芝居の読み聞かせです。

親子ふれあい広場

「子育てほっとアドバイス」

~ほめ方・しかり方・関わり方~ **要予約**

日時: 9月5日(土) 9:30~11:00

定員: 15組程度

対象: 就学前までのお子さんを持つ

保護者※就園児の保護者も参加可能

場所: ふれあいセンター 1階会議室

託児: 先着順【3ヵ月~2歳児に限る】

※託児以外のお子さんは、同じ部屋で過ごします

みくくみえの松岡典子先生にお越しいただき、子どもへのほめ方・叱り方・関わり方について分かりやすくお話しいただきます。

「はつねの会」による歌あそび・紙芝居

日にち: 9月11日(金)

時間: 10:15~10:45

歌あそび(英語の歌)、紙芝居、シアターをします。

保健師による親子ミニサロン **要予約**

日時: 9月7日(月) 10:00~11:00

定員: 10組程度※定員になり次第受付終了

内容: 冬に向けて流行する感染症とその対策

嘔吐物処理の方法

生活リズムの整え方

個別相談・身体測定もできます。

おしゃべりサロン

(1,2歳児) **要予約**

日時: 9月17日(木) 10:00~11:00

対象者: 令和5年4月2日~令和7年4月1日生まれの子を持つ保護者

定員: 10組

託児: 先着順【3ヵ月~2歳児に限る】

同じ学年の子を持つ親同士が気軽に交流できる時間です。日々の悩みや子育て情報を気軽に共有してリフレッシュしましょう♪

※9月の土曜開放日は親子ふれあい広場開催の為、

お休みになります。

ちょこっと コラム



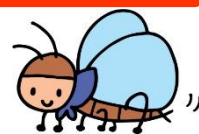
9月になると暑さがやわらいで過ごしやすくなるとともに、夕方には秋の虫たちの鳴き声が聞こえてくる頃ですね。季節の移ろいを味わえるよう、涼しい時間をみて散歩に出かけてみるのもいいですね。

9月に入ってもまだまだ暑い日が続きますので、汗拭きや水分補給をしっかりと、元気に過ごせるようにしましょう。



秋に聞こえる虫の鳴き声

- ・コオロギ → コロコロコロリ♪ リリリリリリリリリ♪
- ・スズムシ → リーンリーンリーンリーン
- ・ツクツクボウシ → ツクツクボーシ！ツクツクボーシ！
- ・マツムシ → チンチロリ♪ リリリリリリリリリリ♪
- ・クツワムシ → ガチャガチャガチャガチャ



どんな歌が聞こえるかな？
虫たちの合唱に耳を傾けるのもいいですね♪



子どものための防災～もしもの時のための備え～

9月1日は防災の日、9月9日は救急の日です。

ここ数年自然災害が多く、いつ何が起きるか分かりません。いつ起きるか分からないからこそ知識やグッズ・心の準備を日ごろから備えておく必要があります。今回のコラムをきっかけに避難経路や持ち出しバックの中身を家族で確認してみてください。



あると便利なグッズ

★抱っこ紐★

ガレキが散乱する中ベビーカーで移動するのは困難な場合があります。抱っこ紐がない場合はさらしやバスタオル・ストールで代用することも可能です。是非使い方を検索してみてください。

★おもちゃ★

災害時、子どもはいつもと違う環境で不安定になりがちです。使い慣れたおもちゃがあると安心感・心のケアにつながります。

★ミルクセット★

消毒不要な使い捨てタイプが便利です。液体ミルクは常温で授乳可能で菌混入リスクも低いです。哺乳瓶は紙コップで少しずつ飲ませる代用策もあります。

心のケアについて

※お母さんのケア※

日々のストレスに被災のショックが重なることで、強い恐怖感や落ち込み、うつ症状を伴うことがあります。子どもを励まそうとするあまり、自分の不安な気持ちを押し込めてしまわないように。信頼できる人と話をする機会を作ることが大切です。

※子どものケア※

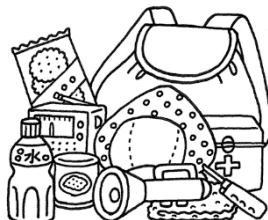
赤ちゃん返りや夜泣き、乱暴な言動等災害時に見られる子どもの「異常な行動」は「非常時における正常な行動」です。大きく受け止め、しっかりと抱きしめてあげてください。

また同じ話を何度も繰り返したり、地震ごっこや津波ごっこといった再現遊びをする子もいます。子どもなりに災害を受け止め、体験を消化するプロセスなので、温かく見守りましょう。

避難バックを見直そう！

～子ども用避難バックに必要なもの一覧(例)～

- ☐ 母子健康手帳、健康保険証
- ☐ オムツ、お尻拭き、消臭袋
- ☐ 授乳用ケープ、ミルクセット（液体ミルク）
- ☐ スプーン、紙コップ、ラップ
- ☐ ガーゼ ☐ ウェットティッシュ（アルコール入）
- ☐ 抱っこ紐
- ☐ 非常食、離乳食
- ☐ 着替え、靴、防寒具
- ☐ マスク
- ☐ 圧縮ブランケット
- ☐ おもちゃ など



◎持てる・使える・助かるが基本の

「第1次避難バック」

◎一旦落ち着いてから取りに戻る

「第2次避難バック」

◎緊急時に命を守るグッズは

「常時携帯用避難バック（ポーチ）」

どの避難バック（1次・2次・携帯）に入れるか家族で話し合っておきましょう。

避難中にはぐれてしまうことも想定し、1人1個用意することも大切です。